１年生の交通安全教室

一燈照隅

その立場立場でなくてはならぬ人になる

発　行
平戸市立平戸小学校
文責　校長　永田健治

児童数　３４７名
教職員数　３６名

創立１５０周年

発行：平戸市立平戸小学校　〒859-5121　平戸市岩の上町1509番地　ＴＥＬ：0950-22-9230
E-mail：hirado-es@hirado.ed.jp　ホームページ：「平戸市立平戸小学校」で検索

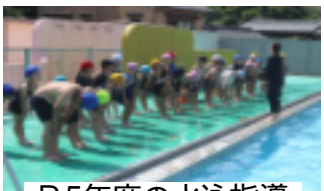
梅雨入りはいつ頃に

じっくり学習に取り組める６月

登校日数が一番多い月

桜の季節が過ぎ、平戸ツツジも終わり、アジサイの花が色づく時季になりました。10日は「入梅（にゅうばい）」、うっとうしい季節がやってきます。梅雨入りが気になる今日この頃ですが、今年はいつ頃梅雨入りするのでしょうか。そして、21日が、「夏至（げし）」。いよいよ夏が近づいてきます。プールでの水泳指導も始まります。

また、６月は１年のうちで唯一祝日がありませんので、学校に登校する日が１年のうちで一番多い月となります。登校する日が多くても子供たちにとって楽しく学び多い学校経営を行ってまいります。


Ｒ5年度の水泳指導

虫歯予防デー

４日は「虫歯予防デー」です。「歯科口腔保健の推進に関する法律」の施行に伴い毎年６月４日から10日までの期間を「歯と口の健康週間」と呼ぶようになっています。

本校では４月に学校歯科医の大森先生に検診をしていただいています。歯科検診で虫歯が見つかった人がいましたが、もう治療はすみましたでしょうか。虫歯は時間が経てばいつのまにか治るものではなく、悪化する一方です。かつて私も自然治癒力に頼ってみましたが、だんだん激痛がひどくなり、受診したら神経が壊死寸前と怒られました。早めの受診をお勧めします。

大森先生による検診

心を見つめる教育週間

長崎県では平成16年から本教育週間を開始し、これまですべての公立学校で教育活動を公開する教育週間の実施を通して、学校と保護者や地域住民が連携し、「地域の子どもは地域ではぐくむ」という気運を高めてきました。本校でも６月17日から21日までを教育週間と位置づけており、①校長講話、②道徳の授業参観（21日）、③いじめを許さない意識を育む、④地域発見、⑤読み聞かせなどを計画しています。

心にも栄養補充

本校では、読み聞かせボランティアに19名登録していただき、毎週水曜日の８時５分から10分間ほど読み聞かせを行っています。

この時間、本校はシーンと静まりかえります。

１年生から６年生までボランティアの方の表現豊かな読み聞かせに集中しているからです。

子どもたちの心に栄養がゆっくりと行き渡っていく時間です。

叱ることの大切さ

近年、褒めて伸ばすという社会風潮が広がっています。確かに褒めて、認めて、励ますことは子供の自己肯定感を高める効果があります。教育学者の中には叱ってはいけないという教育論を掲げる方もいます。

しかし、褒めることが万能ではないことを私たち教職員は経験上理解しています。ですので、学校では叱るときはきちんと叱ります。

ただ、叱られることに対する耐性が十分育っていない子供が増えていることも事実です。

もし、お子さんが学校で叱られて落ち込んで帰宅したときは、叱られた理由を聴き、まずは、今の気持ちを受け止めてあげてください。その後、叱られないためにはどうすれば良かったのか、一緒に振り返り、励ましてあげてください。

学校では、叱るときはきちんと叱り、褒めるときは大いに褒めることで、善悪を判断できる子供を育んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。